

令和2年度 男衾小中合同研修会 実施計画

男衾小中 教務主任

1 日時：令和2年8月3日（月）13：30～15：30

2 場所：男衾小学校プレイルーム

3 研修の目的

- ・9年間を見通した小中一貫教育を推進するために、の最新情報（キャリア・パスポートの活用等）を小中で交換し合い、より良い取組を策定する。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、各教科・領域での小中における共通の取組について検討する。

4 会場座席

(開会行事開始時)

学力部	人権部	環境部
-----	-----	-----

前

5 研修の流れ

司会進行 田嶋

(1) 開会行事
(10分程度)

- ①開式の言葉 司会
②あいさつ 男衾小学校 校長 小柳 百代
③研修の流れの説明 阿久津
④閉式の言葉 司会

(2) 研修第1部（各部会による協議） 13：40～14：20

※例えば、小学校の部長が司会を務めた場合、中学校の部長が発表してください。

小学校の副部長が記録を務めた場合、中学校の副部長がデータ入力を行ってください。

①自己紹介

- ②共通の取組（実施時期・達成基準・実施方法等）について協議する。過去の取組も参考に。
③各部代表者による発表（各2分程度）

●各部会のメンバー (◎部長（司会・発表） ○副部長（記録・データ入力）)

部会名	小学校	中学校
学力部（小学校：学力部 中学校：学力部）	◎和田 ○田嶋 藤野や 平子 佐藤 志村	吉川 馬場 高松 ○町田 小関 ○阿久津
人権部（小学校：人権部 中学校：道徳・人権部）	◎小林ひ 吉井 丸山 藤野な 木村 小林ま	◎小柳 井出 新井 ○岩崎 佐藤 二ノ宮
環境部（小学校：キャリア教育部 中学校：環境部）	◎高橋 ○柳田 吉住 今藤 関谷 飯田 岡安	◎高橋 豊田 徳世 ○内田 大久保 久保田

●各部会の協議内容

部会名	協議内容
学力部	<部会の目的> 学び合い活動のさらなる充実と、表現力の育成 「なかまアンケート」と「キャリア教育・学び合い活動に関するアンケート」の活用

	<p><昨年度の共通の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ①学び合い活動（小グループ）を通し、一人一人を大切にする授業展開（男衾スタイル） ②学調等考慮 男衾地区の実態を踏まえ（非認知能力と学習方略も含む） ③家庭学習の取組（テスト期間等） ④規律ある態度 学調における達成状況の考察 <p><昨年度の達成状況 ○成果 ▲課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体やグループ内での発表ができるようになってきた。 ○小学校は「なかまタイム」で書く時間を確保している。中学校は書く時間確保が課題。 ▲中学校でも「読売ワークシート通信」を活用する。 ▲模範となる家庭学習ノートの掲示。 ▲小学校でも、百人一首を取り入れる。
人権部	<p><部会の目的> 学び合い活動を通した、人権感覚の高揚と、豊かな人間性や社会性の育成 「埼玉県版人権学習に係る質問紙」を活用した小中連携</p> <p><昨年度の共通の取組 ○成果 ▲課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ①人権教育を生かした指導の取組 ②心豊かな児童生徒を育む取組 <p><昨年度の達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○挨拶はできるようになった。 ▲ソーシャルスキル、アサーショントレーニングをどう組み込んでいくかが課題。 ▲人権感覚育成プログラムをどう扱っていくかが課題。 ▲道徳の交流をもっと進めていく必要がある。（評価の方法等）
環境部	<p><部会の目的>キャリア・パスポートを活用した取組や授業の展開、保管方法の確立</p> <p><昨年度の共通の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ①教室参観（教室掲示、全面掲示【UDの視点】、廊下掲示、手作り感等） ②清掃の取り組み方や合同清掃、給食・食育の取組 ③安全教育の取組（立哨指導、避難訓練、危機管理マニュアルの活用） ④児童会活動と生徒会活動のコラボできる取組（あいさつ運動・縦割り活動） <p><昨年度の達成状況 ○成果 ▲課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練 → ④小学生の面倒を中学生は良く見てくれた。時期も良い。 ④本番を意識して取り組めた。小中で同じ時期にやれていて良い。 区長だけでなく、見守り隊やPTAとも連携してやりたい。 ○安 全 → ④不審者対応の避難訓練を計画、実施。 ○小中交流 → ④学校説明会の日の授業体験、部活体験などやれている。 ▲ハザードマップ → ④5年保健、6年社会 授業を通して ④ほぼ完成。今後どのように活用していくか。地域へ？ ▲各行事 → ④時間調整が難しいが、小中でうまくやっていきたい。 ▲教室環境 → ④教室前方の棚の目隠しを作成予定 ▲教員間や児童・生徒同士の連携を強化していくことが、今後の大きな課題である。

～ 休憩 ～ 10分間

(3) 研修第2部（各教科・領域による協議） 14：30～15：20

①自己紹介

②記録者、発表者、データ入力者の決定 ※司会は置きません。

③協議内容…どうしたら今年度中に、授業交流ができるのか実践計画をたてる。

中学校教諭が、小学校の授業にゲストティーチャーやチームティーチングで入ることで、中学校教諭の授業を小学校教諭が参観できる。中学校教諭が小学校の授業のどの場面で入れるか、単元を摸索する。

④各教科・領域代表者による発表（各1分程度）

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【1／18】

部会名・教科領域名 (学力部)	
部 員	(小) ◎和田 ○田嶋 藤野や 平子 佐藤 志村 (中) ◎町田 ○阿久津 吉川 馬場 高松 小関
<部会の目的>	・学び合い活動のさらなる充実と、表現力の育成 ・「なかまアンケート」と「キャリア教育・学び合い活動に関するアンケート」の活用
昨年度の取組から	<p><昨年度の共通の取組></p> <p>①学び合い活動（小グループ）を通し、一人一人を大切にする授業展開（男衾スタイル） ②学調等考慮 男衾地区の実態を踏まえ（非認知能力と学習方略も含む） ③家庭学習の取組（テスト期間等） ④規律ある態度 学調における達成状況の考察</p> <p><昨年度の達成状況 ○成果 ▲課題></p> <p>○全体やグループ内での発表ができるようになってきた。 ○小学校は「なかまタイム」で書く時間を確保している。中学校は書く時間確保が課題。 ▲中学校でも「読売ワークシート通信」を活用する。 ▲模範となる家庭学習ノートの掲示。 ▲小学校でも、百人一首を取り入れる。</p>
今年度の共通の取組（実施時期・達成基準・実施方法等） 8／3策定	
<ul style="list-style-type: none"> ・県学調の結果から、課題は表現力（書く力） ・グループでの話合いを、ホワイトボードに書いて発表する。 ・しゃべるだけでなく、文字にする活動を増やす。 →なかまタイム、学び合いの目的地 ・単元に1回は、ホワイトボードに書かせる授業を実施する。 ・自分が考えて書く取組も大切。 →書く子、発表する子が固定化してしまうのでは？ ・よく書けている子のプリント等を印刷して配付、紹介する。 ・「読売ワークシート通信」の活用 →読んで書く力がつく。 ・中学校でも「なかまタイム」という名称で良いのでは？ 	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【1／18】

部会名・教科領域名（人権部）	
部 員	(小) ◎小林ひ　吉井　丸山　藤野な　木村　小林ま (中) ◎小柳　○岩崎　井出　新井　佐藤　二ノ宮
<部会の目的>	・学び合い活動を通した、人権感覚の高揚と、豊かな人間性や社会性の育成 ・「埼玉県版人権学習に係る質問紙」を活用した小中連携
昨年度の取組から	<p><昨年度の共通の取組 ○成果 ▲課題></p> <p>①人権教育を生かした指導の取組 ②心豊かな児童生徒を育む取組</p> <p><昨年度の達成状況></p> <p>○挨拶はできるようになった。 ▲ソーシャルスキル、アサーショントレーニングをどう組み込んでいくかが課題。 ▲人権感覚育成プログラムをどう扱っていくかが課題。 ▲道徳の交流をもっと進めていく必要がある。（評価の方法等）</p>
<p>今年度の共通の取組（実施時期・達成基準・実施方法等）8／3策定</p> <p>・人権感覚育成プログラムの実施について 小学校・・・年5回（1学期1回、2学期・3学期2回） 中学校・・・年3回（各学期1回） 実施回数を多くとることで「人権」の理解につながるため、今年度、小、中ともに機会を多く設定できたことは前進だといえる</p> <p>・道徳の交流について 中学校・・・評価の方法を教員に掲示し共通理解を図っている 小学校・・・中学校で設定している評価を小学校でも共有し把握→連携</p> <p>道徳「行動目標」を小、中ともに1学期に1度実施</p> <p>・その他 実践していることについて 小学校・・・「人権学習に係る質問紙」を実施→中学校でも活用していく 道徳の授業を学年内の教員でローテーションし、多角的な視点、豊かな価値を育てる取り組み→小・中ともに実施（特に小学校は管理職に入つてもらい授業を実施） 小学校・・・「～さん」付け指導の実施・・・中学校でもどうか？</p> <p><成果></p> <p><課題></p>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【1／18】

部会名・教科領域名 (環境部)	
部 員	(小) ◎高橋 ○柳田 吉住 今藤 関谷 飯田 岡安 (中) ◎高橋 ○内田 豊田 徳世 大久保 久保田
<部会の目的>	キャリア・パスポートを活用した取組や授業の展開、保管方法の確立
昨年度の取組から	<p><昨年度の共通の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ①教室参観（教室掲示、全面掲示【UDの視点】、廊下掲示、手作り感等） ②清掃の取り組み方や合同清掃、給食・食育の取組 ③安全教育の取組（立哨指導、避難訓練、危機管理マニュアルの活用） ④児童会活動と生徒会活動のコラボできる取組（あいさつ運動・縦割り活動） <p><昨年度の達成状況 ○成果 ▲課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練 → ④小学生の面倒を中学生は良く見てくれた。時期も良い。 ④本番を意識して取り組めた。小中で同じ時期にやれていて良い。 区長だけでなく、見守り隊やPTAとも連携してやりたい。 ○安全 → ④不審者対応の避難訓練を計画、実施。 ○小中交流 → ④学校説明会の日の授業体験、部活体験などやれている。 ▲ハザードマップ → ④5年保健、6年社会 授業を通して ④ほぼ完成。今後どのように活用していくか。地域へ？ ▲各行事 → ④時間調整が難しいが、小中でうまくやっていきたい。 ▲教室環境 → ④教室前方の棚の目隠しを作成予定 ▲教員間や児童・生徒同士の連携を強化していくことが、今後の大きな課題である。
今年度の共通の取組（実施時期・達成基準・実施方法等）8／3策定	
<p><今年度の共通の取組></p> <p>○キャリアパスポート</p> <p>【小学校】・「自分をみつめてみましょう」「1年間を振り返りましょう」+ 学期のめあて、行事の感想を書いた作文等をファイリングする。</p> <p>【中学校】・小学校と同様のもの + 高校に提出するキャリアパスポート ・各行事での振り返り → 教室掲示 → 1年間の振り返り</p> <p>▲キャリアパスポートの記述内容が学年によって変わっていた方が、子供達も必要性を感じることができるのでないか。（特に中1～3年にかけて）</p> <p>▲記入させた後、キャリアパスポートをどう活用していくのか。 →小6・中3（卒業文集）…その他の学年はどうするか。</p> <p>▲小学校→中学校へどうつなげていくのか。…ファイリングしたものを、上げていく。</p> <p>▲「ただの記録・振り返り」ではなく、普段の生活・行事と絡めて、どう成長していくのか、どう成長したのか、この後どうしていくのか詰めていく必要がある。</p> <p><成果></p> <p><課題></p>	

【例】

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【1／18】

部会名・教科領域名 (算数・数学)	
部 員	(小) 志村 (中) 阿久津 徳世
昨年度の 共通の取組	①授業参観 ②図形問題などへの取り組み
授業交流について 8／3 策定	
<実施可能な単元>	
直方体・立方体 垂直、平行、面と平行、見取図	
<実施時期・学年>	
2月下旬～3月上旬	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
授業の途中でゲストティーチャーとして中学校教諭が入り、円柱の体積の求め方を指導する。あわせて、その内容が中学校でいかに重要なかを児童に伝える。	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (国語)	
部 員	(小) 小林ま 佐藤 (中) 新井
昨年度の 共通の取組	①漢字指導 ②読売ワークシート通信

授業交流について 8／3 策定

<実施可能な単元>

- ・言葉は時代とともに
- ・書写 はってん「行書」

<実施時期・学年>

- ・言葉は時代とともに 11月頃・6年生
- ・書写 はってん「行書」 12、1月頃・6年生

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

- ・言葉は時代とともに 授業の途中でゲストティーチャーとして中学校教諭が入り、中学校における古典の学習への心構えや期待を高める。あわせて、その内容が中学校でいかに重要なかを児童に伝える。歴史的仮名遣い、古語のクイズ等を行う。

- ・書写 はってん「行書」 メインティーチャーとして、中学校教諭が入る。中学校で学習する行書の書き方について興味関心を高める。

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (社会)	
部 員	(小) 今藤 小林ひ (中) 高橋、岩崎
昨年度の 共通の取組	①小学3年生から中学3年生までの見通しをもった指導 ②興味がもてるような取組

授業交流について8／3策定

<実施可能な単元>

特に定めず、いつでも参観してよい。

(できれば、児童の理解が難しい単元が望ましい。)

<実施時期・学年>

特に定めない。

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

- ・初めての交流であるので、指導案等は作成せず、連絡をして気軽に続けるようにする。
- ・男衾中・高橋先生、岩崎先生の授業予定を、男衾小・小林秀樹先生に送る。その後、参観可能な曜日・時間を男衾中・高橋先生、岩崎先生に知らせる。
- ・小学校→中学校、中学校→小学校で相互に見合う形にする。
- ・授業の中で、参観する先生がTTなどで入れるような場面があれば入ってもよい。

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (理科)	
部 員	(小) 藤野な、高橋 (中) 町田、小関
昨年度の 共通の取組	①授業参観

授業交流について8／3策定

<実施可能な単元>

もののとけ方

<実施時期・学年>

2～3月頃・5年生

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

- ・実験器具（メスシリンドー）の使い方・・・中学校でも使うため、使い方や注意点などの指導
- ・実験補助・・・T・Tで実験の補助をする
- ・中学1年生でも同様の化学単元を扱うため、この単元の重要さを児童に伝える
- ・小学校と中学校で扱う薬品の違いを知ってもらうため、実際にどんなものかを見て特徴などを話してもらう（硝酸カリウム・塩化アンモニウムなどを結晶にして）

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (外国語)	
部 員	(小) 関谷 (中) 高松
昨年度の 共通の取組	①授業参観 ②フォニックス (文字の音 i=アイやイ、二重母音)
授業交流について8／3策定	
<実施可能な単元>	
Lesson11 「Junior High school Life」 中学校でしたいことを発表しよう	
<実施時期・学年>	
2月・6年生	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
<ul style="list-style-type: none">・単元の導入として、第1時に授業をしていただきます。・中学校の部活や行事の写真を使って単語にふれる。・どんな部活動に入りたいか、どんな行事が楽しみか等の英語表現でのやりとり。	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (図工美術)	
部 員	(小) 和田 (中) 井出
昨年度の 共通の取組	①絵の指導 ②発想の広げ方 ③評価
授業交流について 8／3 策定	
<実施可能な単元>	
郷土を描く美術展に向けて	
<実施時期・学年>	
2～6年生、8・9月	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
<ul style="list-style-type: none">サポート内容を事前に意見交換する。下書きを中学校へ持っていき、アドバイスをいただく。小学校へ来て授業をしていただく。振り返り。審査会に出す前にもう1度作品を見る機会をつくる。	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<ul style="list-style-type: none">パレットの使い方の統一授業実践をファイルにまとめ、積み重ねていく。	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (音楽)	
部 員	(小) 岡安 平子 (中) 内田
昨年度の 共通の取組	①発声 歌唱時の足 式典時の所作（国家） 授業規律 ②相互授業参観
授業交流について8／3策定	
<実施可能な単元>	
鑑賞	
<実施時期・学年>	
高学年 2学期（11～12月）	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
音のとり方、きき方、ポイント	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (体育)	
部 員	(小) 柳田 飯田 丸山 (中) 大久保、久保田
昨年度の 共通の取組	○保健 ○体育
	授業交流について 8／3 策定

<実施可能な単元>

器械運動（マット・跳び箱） ゴール型（バスケットボール）

<実施時期・学年>

2月 5年生 バスケットボール

2月 6年生 跳び箱

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

バスケットボール・・・ある程度技能は小学校の方の指導で身に付けておき、単元中盤で中学の先生にゲームを行う上での作戦等をご指導いただきたい。作戦をもとにチームにあった作戦を選び実行する授業を行いたい。

跳び箱・・・単元の導入部分で技のポイントの説明をしていただき、中学への器械運動への意欲付けを図りたい。

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

体力課題について・・・反復横跳びなどの瞬発系に課題がある。

年間指導計画について・・・系統性のある単元の配列を考えていきたい。

ソフトボールについて・・・今年度から6年生で導入した。

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名（ 総合 ）	
部 員	(小) 平子 (中) 二ノ宮
昨年度の 共通の取組	①共通のテーマ設定（男衾を愛し、男衾に愛される～） ② ICTの活用、発表の見学 ③ポートフォリオの作成

授業交流について8／3策定

<実施可能な単元>

<実施時期・学年>

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (道徳)	
部 員	(小) 木村 (中) 小柳
昨年度の 共通の取組	・確実な実践、深い学びにつなげる取り組み・環境整備

授業交流について 8／3 策定

<実施可能な単元>

- ・主題名「自分で判断し、行動する」
- ・教材名『卒業に向けて』 A 善悪の判断、自律、自由と責任

<実施時期・学年>

【予定】 1月21日（木）・6年

<どのように交流をするか・具体的な流れ>

- ・中学校生活で楽しみなこと、不安なことなど事前にアンケートをとり、授業内容と合わせて打ち合わせをする。
- ・終末で、「中学生になったらできることには、どのようなことがあるか。」「なりたい中学生になるために、やるべきことは何か。」などについて、お話をさせていただく。

※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。

<情報交換で上がった話題>

- ・道徳の行動目標について
- ・ローテーション授業とその評価について

<成果>

<課題>

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名 (特別活動)	
部 員	(小) 田嶋 藤野や (中) 吉川
昨年度の 共通の取組	
授業交流について 8／3 策定	
<実施可能な単元>	
①人権感覚育成プログラム（小学1年生）を中学校の先生が参観 ②交流ノート（児童会一生徒会） ③中学生が中学校を説明（学習・部活・生活など） ④あいさつ運動 ⑤ゴミ拾い	
<実施時期・学年>	
①当日②月1回の交換③学期末あたり④朝⑤適宜 ①1年生②児童会生徒会③高学年と中学生④全児童生徒⑤児童会生徒会	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
①人権感覚育成プログラム（小1）を中学の先生に参観してもらう。 ②月に1度、2冊のノートを交換する形で行う。実践報告や質問など ③中学生が小学校に来て、中学校の実態を詳しく教えてくれる。 ④⑤は、現実的に実現可能か内容等を検討する。	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名（特別支援）	
部 員	(小) 吉住 (中) 佐藤
昨年度の 共通の取組	① 合同学習会 ② 作業体験 ③ 親睦を深める
授業交流について8／3策定	
<実施可能な単元>	
生活単元	
<実施時期・学年>	
○第1回・全員 10月1日(木)頃	
○第2回・全員 1月28日(木)の午前中	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
○第1回 生活単元（お絵描き連想ゲーム）	
○第2回 生活単元（第3回合同学習会）	
・卒業生（小6、中3）を中心に、花束渡しとゲームなどで楽しむ。 ・時間は1～2時間程度	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	

<記録用紙>

令和2年度 男衾小中学校合同研修会 各部の取組【8／3】

部会名・教科領域名（生徒指導・教育相談）	
部 員	(小) 高橋 吉井 (中) 豊田
昨年度の 共通の取組	交流・授業参観・情報交換等について8／3策定
<実施可能な時期・学年>	
<どのように交流をするか・具体的な流れ>	
※上の協議が早く終わった場合、情報交換を行ってください。	
<情報交換で上がった話題>	
<成果>	
<課題>	